

湯梨浜町過疎地域自立促進計画第3回委員会議事録

日 時 平成28年2月26日(金) 午前10時～10時40分
場 所 湯梨浜町役場第1・2会議室

1. 開 会 (進行：幹事長)

そうしますと、湯梨浜町過疎地域自立促進計画第3回策定委員会を開催したいと思います。これが最後の会になると思いますけども、平成27年の2月から、それぞれ6地区で企画課の担当が町民の意見を聞きながら計画を策定いたしました。この間、委員の皆さまにはいろいろとお世話になり、ある程度議論をしながら、策定できたと思っております。前回、特に第2回委員会につきましては、会長の方からもありましたが「小さな拠点をもう少しきちんと整理すべき」というお話もありまして、新年度におきましては、あらためて協議会を立ち上げるような予算を計上したところでございます。地域が主体となって協議会を運営していくような予算計上になっておりますので、そのときにはよろしく願います。

簡単ではございますが、開会のあいさつとさせていただきます。

(幹事長)

そうしますと、会長よりあいさつをお願いします。

2. 会長あいさつ

(会長)

今日のご苦労様です。幹事の皆さんにおかれましては、3月議会がもう間近ということで、お忙しい中時間を割いていただき、ありがとうございます。9月から審議し、いろいろと意見を持ち出したり、修正を加えてもらったりしたわけですけども、委員の皆さんにとっては今日が最後です。時間はあまりありませんけども、忌憚のない意見をどんどん出していただき、過疎計画に関係あるなしに関わらず、意見なり要望なりを出してもらえればと思います。今日はよろしく願います。

(幹事長)

以降は、会長に進行をお願いしますが、町長が昼から出張がございまして、できれば10時30分ごろに一度答申を渡していただき、その後も意見があるようであれば協議を進めていくという日程でお願いしたいと思っております。

3. 報告事項 (進行：会長)

それでは、レジュメに従って進めたいと思っております。3. 報告事項(1)最終案について、事務局をお願いします。

(事務局)

それでは説明させていただきます。お手元の計画書、まずは35ページをご覧くださいければと思います。事業計画欄「バス停留所改修事業」ということで、石脇車庫のバス停留所の

改修を追加させていただきました。本年度、石脇の上り線につきまして、解体を計画していましたが、JR との関係もあり、あらためて28年度に向かうということで追加しております・・・。

(※以降、資料に基づき、事務局より追加・修正箇所の説明。「中学校卒業祝金」「ふるさと教育推進事業」「新中学校」「統合学校給食センター」「小さな拠点推進事業」「小さな拠点施設整備事業」)

本文につきましては、以上です。なお、今説明した内容に対応するような形で、5年間の事業計画及び概算事業費をそれぞれ修正を加えております。簡単ですが説明を終了させていただきます。

(会長)

ただいま、全体の修正点等について説明がありました。委員の皆さんの方から何かございますか。

(委員)

学校給食センターの新設について挙がっていますが、試食するに、ご飯が非常にまずい。新設のセンターでは、センターでご飯を炊くということですか。今までどおりパン屋さんと提携して。どうでしょうか。炊く方針で進めていただきたいですが。

(幹事)

学校給食センターも、中学校に併設する形で作業を進めているわけですが、給食のご飯・パンにつきましては、これまでどおり県の学校給食会を通じて搬入していただくという形になりますので、新しくできる給食センターの中では、ご飯なりは作らない計画でいます。

(委員)

皆さんも試食されてご存じだと思いますが、家でのご飯と給食のご飯と全然味が違う。おいしいお米を農家の皆さんが作っておられます。せつかく作るのだから、おいしい炊き方で実施いただきたい。パン屋さんとの関係もあるけども。

(幹事)

試食されてそのような感想を持たれたということですね。

(委員)

以前からですが、今年も同じままなものですから。

(幹事長)

私も年に1回、それぞれの学校で食事をさせていただくんですけども、米の関係についてはできるだけ地元の米を使っていたきたいということは話をしているんです。ただ、全体の中で、地元の米を使いながらという流れにはなっているようなんですけども、そうはいつでも給食会から一括してという形をとっていることも一つあります。あとはやはり炊き方でしょうね。おいしい炊き方で実施できるかどうかということは、きちんと教育委員会にさせていただきたいと思っております。

(委員)

私も米飯の試食をした経験がありますけども、パン業者に委託してらっしゃるでしょう。

パンの機械に入れて蒸したような炊き方をしてらっしゃるんです。それも食事が始まる何時間も前においてあるような状態で、普通なら杓子を入れて混ぜるでしょう。それをしないで、子どもが食事をする時間になってから配達して。やはりご飯は、半分以上炊き方によっておいしくなる・ならないが出てきますから。委員さんもおっしゃいましたけども、農業委員会も何度か試食しておられるはずですから、本気で検討されるべきです。

(幹事長)

自校式になっていますので、泊小学校の米はおいしいというのはよく言われていますが、また教育委員会の方も考えられるでしょう。

(委員)

米の話が出ましたが、うちは昔から何十年の米屋ですけども、要因は米の種類によります。近所はコシヒカリですが、どんな炊き方をしてもおいしいです。質にも段階があって、値段や種類にもよります。炊き方は昔から同じようなものですから。水の加減も含め。

(幹事長)

課長が確認しながら、来年度に向けて頑張っていくと思いますので。

(幹事)

子どもたちに提供するまでの過程で、もう少し工夫ができないかということを考えてみたいと思います。

(委員)

これは、新しい中学校ができるにあたって、給食センターが統合されて一つになったものができるということですね。

(教育総務課長)

はい。ただし、泊小学校は今までどおり自校式で行いますが。

(会長)

小さな拠点関係事業で、協議会を立ち上げるということですが、泊は今現在（泊地域だけの）区長会がないもので、区長みんなが入るのかどうか分かりませんが、近いうちに公民館の関係で、泊地域で区長会が開かれる予定がありますので、そのときに話を出してみましようかね。協力隊員にも来ていただいて。

(幹事長)

お願いします。区長会だけでなくして、色々な団体の人を集めながら一緒にやっていたかくような形になると思いますので。

(委員)

われわれは昔から、泊地域は在宅介護が進んでいる地域という認識でいるんですけども、テレビ等でも話題になっているように、夫婦で介護をされている方が自死されるなどの問題が多く出てきています。これは全国的な傾向であるとも思いますが、この泊地域で支え合いを振興するようなモデル地域として進んでいただきたいと思い、発言させていただきました。

(幹事)

ぜひそのようなモデル地域なるように、泊地域の人にも、ゆりりんメイトに応募していた

だき、研修を受けていただいています。それら人々を中心に地域の活動を盛り上げていただくということ、小さな拠点の協議会を立ち上げて、来年度協議に入っていただくんですが、この拠点も中心にしながら、家庭にとどまらず、地域の人がそれぞれ見守りの目だとか、日ごろの付き合いが広がるような地域にできるよう、地域づくりの方にもご協力をいただきたいと思いますので、よろしくをお願いします。

(会長)

確かに合併前の泊地域は、要介護認定率も県内で1位か2位くらい低かったです。社会福祉協議会も在宅介護支援センターになりました。(支援の輪を広げるためには)細やかな活動も今後必要ではないかと思いますので、よろしくをお願いします。

このほか、ございませんか。ないようでしたら、②の「県意見・パブリックコメントの結果について」をお願いします。

(事務局)

それでは、別紙資料を添付しておりますが、まずはパブリックコメントについてご報告させていただきます。2月23日まで意見募集を行いました。ご意見等はございませんでした。次に県意見についてですが、地域振興課並びにとっとり暮らし支援課の方から意見をいただいております。

地域振興課からは「地域文化振興施設等」につきまして「文化財の保存自体は、過疎債ハードの対象となりませんのでご注意ください」という内容をいただいております。とっとり暮らし支援課からは、新規事業である「運転免許取得支援」等について「事業等の詳細が決まりましたら、当課に情報提供をお願いします」ということと、全般において「国や県の補助金を活用して整備した施設等を改修する場合は、法に従って実施してください」ということと、本計画の内容に直接影響するような意見はございませんでした。以上でございます。

(会長)

これにつきましては、報告事項ということですので、4. 答申に移りたいと思います。

(事務局)

町長がいらっしゃるまでのこの時間を利用し、付録についての資料を説明いたします。お配りしておりますこちらにつきましては、計画の最後につけさせていただく予定にしております。

(※付録に内容について説明)

(事務局)

付録内「策定幹事会」の名簿に一部誤りがございましたので、事務局の方で修正させていただきます。

4. 答申

(※会長より答申書の読み上げ、町長へ受け渡し)

(町長)

どうもありがとうございました。ただいま答申書をいただきました。答申にもありまし

たように、計画的にきちんと執行していきたいと思います。このたびの経過の策定に当たりましては、住民の皆さんのニーズを把握することにも極力務めたところであります。今後地方創生の取り組みも本格してまいります。これらの施策の中にもきちんと盛り込んで、泊地域が過疎地として今後発展を阻害されることのないように頑張っていきたいと思っております。長時間にわたりありがとうございました。

(※町長退出)

(会長)

そうしますと5. その他に移ります。

5. その他

(幹事)

付録の方に、委員会の設置要綱を付けております。こちらの第4条ですが「任期を平成28年3月31日までとする」とあり、委員の皆さんには5年間、策定に携わっていただきました。任期は今年度いっぱいということで、現委員会体制は終了となりますが、引き続き、委員会の設置は行ってまいりますので、またお声掛けさせていただくことがあると思っておりますが、その際はよろしくお願ひします。

6. 閉会

(幹事長)

本当に1年間お世話になりありがとうございました。この計画をきちんと作用させ、泊地域だけでなく、ほかの東郷や羽合にも影響が波及できるような形で進めていきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願ひします。

(会長)

意見交換会でもあったように、現実問題として泊地域の現状の悪さ、危機感をかなり持っています。計画に挙がっていない各課事業でも、通常業務においてどんどん進めてほしいと思っております。住民は主体となってやるべきことをやっていきますから、行政と地域と住民と、共同作業で行きたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

では、以上で終わります。